

針刺し・切創防止マニュアル

1. 目的

このマニュアルの目的は、清掃従事者の「針刺し・切創」による直接的な被害もちろん、感染等の防止対策マニュアルとして制定する。

病院内等での業務中における針刺し・切創によって感染する危険性があることが未だに指摘されており、また、病院に限らず医療関係施設以外での発見場所としてショッピングセンター、ホテル、オフィス等のトイレやゴミ箱で使用後の注射針が一般のゴミとして捨てられていることが確認報告されています。これらの現状を踏まえ、担当責任者や清掃従事者の一人一人が処理方法や対処方法を周知し、現場等における様々なリスクの低減を図りたいと考えます。

6. 予防と対策

(1) 廃棄物処理時

- ① ゴミを持つときは、必ず袋の結び目付近を持ちます。
- ② ゴミ袋を直接手で押したり、抱えたりすることは絶対にしないようにします。
- ③ ゴミ袋の上げ下ろし時は、ゴミ袋が身体に触れないように注意します。
- ④ 回収後のゴミの仕分けは行わないようにします。
- ⑤ ゴみを整理するときは、直接手で行わないようにします。
- ⑥ ハザードボックスでも針が出ているかもしれないため、常に注意して回収します。
- ⑦ 移動運搬時は必ず運搬用台車を使用し、山積みにはしてはいけません。